

◇-----◇
下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2011.6.28

下水道機構の『新技術情報』 第2号

(財) 下水道新技術推進機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

◇-----◇

うっとうしい梅雨の真っ只中、みなさまいかがお過ごしでしょうか。梅雨といえば、機構のある水道町周辺の家々の軒先の紫陽花も見ごろを迎えています。紫陽花たちが「うっとうしい」気分も「しっとり」とした気分に変えてくれますね。

さて、先週から配信を始めた下水道機構のメールマガジン『新技術情報』第1号はいかがでしたでしょうか。皆様のお役に立つ情報を発信できればと思っております。それでは先週に引き続き第2号を配信いたします。

～トピックス～

☆インフォメーション

- ・「最新の膜処理技術」をテーマに新技術セミナーを開催しました
- ・平成23年度第1回建設技術審査証明委員会が開催されました(答申：1件、諮問：新規技術14件、変更技術17技術、更新技術19技術、継続技術2件)
- ・平成23年度新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業として、「下水灰の肥料用原料化技術の開発研究」が選定されました。

☆機構の動き

- ・今週は理事会(「第11期役員(会長、理事長、専務理事)の互選」等)が開催されます

☆Tea Break

- ・「ポタリング」(機構職員 S.I さんの投稿です)

☆みなさまからのコラム

- ・メールマガジンの見やすさ、読みやすさについてレイアウトのアドバイスをいただきました。

☆国からの情報・6月27日付けの下水道ホットインフォメーションです

.....
インフォメーション (最新の話題です)
.....

○さる6月10日と17日に東京と大阪会場で「最新の膜処理技術」をテーマに新技術セミナーを開催いたしました。講師には、東京大学環境安全センターの山本教授、国土交通省下水道部の白崎下水道技術開発官、名古屋市上下水道局計画部の坂部計画第一係長、日本下水道事業団技術戦略部の中沢技術開発審議役、当機構の森田研究第一部長をお招きし、ご講演いただきました。山本教授からは、今後のMBR技術の現状と展望と題して基調講演を頂き、MBR技術の普及を図っていくためには何が必要なのか等について力説いただきました。

また、白崎開発官からは第2版として改訂された膜処理技術ガイドラインの内容について、また、坂部係長からは名古屋市での取り組みを実験結果等を用いて詳細に、中沢審議役からは日本下水道事業団におけるこれまでの膜技術に係る開発経緯や全国での導入状況について、最後に森田部長からはガイドライン改定の事務局として関わってこられた内容について、それぞれ大変興味深い内容をご講演いただきました。

今回のセミナーに残念ながら出席できなかった皆様につきましては、多少資料の余部がありますので、実費にて配布可能です。ご興味のある方は機構までご連絡ください。

○平成23年6月24日(金)、平成23年度第1回建設技術審査証明委員会が開催されました。この委員会で、1技術が答申され、後日下水道機構にて審査証明書の交付式が開催されます。また、新規技術14件、変更技術17技術、更新技術19技術、継続技術2技術が諮問され、本年度の審議が開催されました。

本年度審議される新規技術は以下のとおりです。

- 1.ハイノッチェン汚泥かき寄せ機 : 日立機材(株)
- 2.ドラフトチューブサーキュレータ(DTC400) : アタカ大機(株)
- 3.複翼式曝気攪拌機 : メタウォーター(株)
- 4.リフォスマスター汚泥MAP型 : 水ing(株)
- 5.スミジェッター : 住友重機械エンバイロメント(株)
- 6.大口径既設管耐震化工法 : 東京都下水道サービス(株), 日本ヒューム(株), (株)コンセック, 日本工営(株)
- 7.FJボックスカルバート : (株)ホクエツ
- 8.(仮称)MMSボックスカルバート : 鶴見コンクリート(株)
- 9.Two-Wayライニング工法 : (株)環境施設
- 10.ARISライナー工法 : 岡三リビック(株)
- 11.クリアフロー工法 : (株)大阪防水建設社
- 12.KanaSlip工法 : カナフレックスコーポレーション(株)

13.ファイン工法（被膜鞘管工法）（仮称）：東亜グラウト工業(株)，イセキ開発工機，
カジマ・リノベイト(株)，積
水化学工業(株)

14.Pー取付けライニング工法：エフアールピーサポートサービス(株)，(株)オクムラ
道路，
大幸道路管理(株)，東拓工業(株)，藤野興業(株)

審査証明事業では、公平かつ公正な審査を行うため、大学、研究機関等の学識経験者や地方公共団体等の技術者により構成される「審査証明委員会」を設置しています。さらに、5部門の技術ごとに「部門別審査証明委員会」を設置して、依頼者が設定した開発目標に関する実験データや運転性能等について、国などが定める技術指針等に照らし、現地立会試験を含めた詳細な審議、検討が行われています。審査証明が完了した技術は、それぞれの技術について審査証明書が添付された「報告書」や「技術概要書」が作成され、全国の地方公共団体等に配布されます。また、下水道機構のホームページや「下水道新技術研究所年報」、季刊誌「下水道機構情報」などに掲載され、公共事業における新技術導入の際の判断資料として広く活用されています。

○平成23年度新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業として、「下水灰の肥料用原料化技術の開発研究」が選定されました。研究の目的は、国民の食生活を通じて下水道に集約されるリン資源としての「下水灰」の肥料用原料化技術を開発して、国内のリン資源を確保することにあります。これにより、日本の安定的な食糧確保に貢献することができます。下水道機構を代表機関として、9機関で今年度から3年間の予定で研究開発を進めます。本研究成果が実用化されると大きな経済効果も期待されます。下水道機構ではこの様な基礎研究を通じた社会貢献の情報発信も行っていきたいと思っております。

機構の動き（機構の行事予定です）

◎7月1日(金)11:00～12:00

理事会（機構特別会議室）（主な議題「第11期役員（会長、理事長、専務理事）の互選」等）

○7月7日（木）14:00～17:00

平成23年度第1回水処理新技術実用化評価委員会（機構特別会議室）（主な議題「昨年

度からの継続案件：2件、新規案件：1件の合計3案件についての技術の審議」)

○7月14日(木)17:00～19:30

第295回技術サロン(機構8F会議室) 講師；群馬大学大学院教授 片田敏孝、テーマ

「東日本大震災に学ぶ これからの防災のあり方～今求められる命を守るための防災への転換～」 サロンのお申込みはこちら↓

https://www.jiwet.jp/entry_u/ht_entry.php?form_no=salon

○7月15日(金)15:30～17:00

平成23年度第1回新技術設計手法等共同研究委員会(機構8階会議室)(主な議題「リスク管理を考慮した監視システムに関する共同研究の審議」)

○7月20日(水)15:00～17:30

平成23年度第1回管路技術共同研究委員会(機構特別会議室)(主な議題「衝撃弾性波法による管路診断技術に関する共同研究及び下水道マンホールふたの調査・診断・更新に関する共同研究の審議」)

○7月26日(火)～7月29日(金) 下水道展への出展(パブリックブース)及び下水道研究発表会での発表(14編) 『下水道展 '11 東京』 ホームページはこちら↓

www.gesuidouten.jp/

Tea Break (機構職員の感じるまま)

○ポタリング (S.I)

タイトルを見て内容の分かった人は自転車好きの人ですね。ポタリング、それは自転車を使ってゆっくりと散歩のように走ることです。機構がある 水道町には歴史深い神田川が流れ、少し足を伸ばせば縁結びスポットとして有名な東京大神宮、そして皇居のそばには何かを感じさせる将門塚。都心にはひっそりと、でも興味深いスポットがたくさんあります。こういうところは徒歩でも楽しいのですが、季節を感じながら複数巡るには自転車が活躍！でも、自転車には少しつらい現実が…。湾岸部やその周辺には平坦で走りやすい路面があったのですが、先の地震による液状化で、所々、崩壊や亀裂が生じ、はた

また傾いている。私の知り合いにぼろぼろの自転車に久々に乗り、楽しさに目覚めて新車のロードを買ったばかりの人がいますが、きっと彼もこの状況を悲しんでいることでしょう！そもそも市街地では路上駐車や交通量の多さ、埋設物による路面の凹凸や段差などで走りにくいのに、液状化がさらに輪をかけてしまった。本当に残念です。

液状化への対応については、機構でも精力的に研究しています。これにより間接的にも自転車にやさしい社会の構築が進めばと密かに期待しています。機構には様々な特技や趣味、そして知識をもった大勢の職員がいます。皆様、趣味から入って肩肘張らず、ゆったりとした気持ちで課題と向き合ってみませんか？機構ではそのお手伝いをさせていただきます。

みなさまのコラム（皆様からお寄せいただいた情報です）

○掲載情報募集中！

・メールマガジンの見やすさ、読みやすさについてレイアウトのアドバイスをいただきました。

ご意見ありがとうございました。さっそく、ご意見を活させていただきます。

機構の新技术情報でお伝えしたい情報をお持ちの方は本コラムをご活用ください。

情報提供はこちらまで→ jiwet@jiwet.or.jp

※原則 400 字以内。なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としていますが、掲載の可否は当機構にて判断させていただきます。

下水道ホットインフォメーション（2011.6.27 付、国からの最新情報です）

送信元：国土交通省都市・地域整備局下水道部下水道事業課企画専門官

石井宏幸

下水道に関する国土交通本省関係の情報などを皆様にお送りするものです。

お知らせすべき情報をお持ちの場合は、返信メールでお知らせ下さい。適宜、関係者にお伝え下さい。

今週は NEDO から情報をいただきました。ここでクイズ。NEDO の正式名称は何でしょう？ 答えは一番下に↓↓↓

★★★★★ 今週のラインナップ ☆☆☆☆☆

- 「ウォータープラザ」のホームページを開設！【NEDO】

「ウォータープラザ」のホームページを開設！【NEDO】 NEDO では、海外の水ビジネス市場における日本企業の競争力を強化するため、平成 21 年度に「省水型・環境調和型水循環プロジェクト」を立ち上げ、実施しています。この中で、下水再利用と海水淡水化、産業排水再利用を組み合わせた新しい省エネ型造水システムの実証研究プラント（デモプラント）と、それに併設するテストベッドからなるウォータープラザ構想を進めています。このたび、新たにホームページを立ち上げましたので、是非アクセスしてみてください。ホームページからは施設見学の申込みもお気軽にできますので、皆様のお越しをお待ちしております。（特に海外からお客様が来られる際には、是非ウォータープラザをご紹介下さい。） <http://www.waterplaza.jp/>

がんばろう！日本

◆◆◆◆ 東日本大震災関連 ◇◇◇◇

◎今週のトピック ～3 処理場が復活！～ 東日本大震災で稼働停止していた田老浄化センター（岩手県宮古市）、新地浄化センター（福島県新地町）、那珂久慈ブロック広域汚泥処理施設（茨城県那珂久慈流域）の 3 処理場が通常の処理にまで復活しました。特に、田老浄化センターと新地浄化センターは津波で被災した施設。関係者の努力により約 3 ヶ月ぶりの稼働再開!!

○下水道施設被害状況（6 月 27 日時点）

下水処理場 | 震災当初 | 現在

稼働停止	48	16	※1
施設損傷	63	-	
正常に稼働	-	95	※2
不明	9	9	※3

計 | 120 | 120

※1 応急対応中 12、準備中 2、汚水発生なし 2

※2 ほぼ通常の処理を含む

※3 福島第一原発周辺

ポンプ場 | 震災当初 | 現在

稼働停止		79		25	※1
施設損傷		32		13	
正常に稼働		—		73	※2
不明		1		1	※3

計 | 112 | 112

※1 汚水3 (すべて応急対応中)

雨水22 (応急対応中11、準備中5、排水対象なし6)

※2 ほぼ通常の排水を含む

※3 福島第一原発周辺

下水管きよ

【1次調査 (目視調査)】

11都県の137市町村等 (うち1次調査済136)

被害延長/総延長 956km/66,086km

【2次調査 (テレビカメラによる調査)】

10都県の125市町村等 (うち2次調査済113)

被害延長/総延長 543km/62,681km

※被害状況については国土交通省 HP にも掲載

http://www.mlit.go.jp/saigai/saigai_110311.html

http://www.mlit.go.jp/crd/crd_sewerage_fr_000007.html

○支援人員派遣状況

現在までに1都1道2府23県109市町、日本下水道協会、日本下水道事業団、
下水道新技術推進機構、国土技術政策総合研究所、土木研究所より延べ6,575名を派遣

=====

【参考情報】

◆下水で爆発、道路200mでマンホールのふた十数個吹き飛ばす＝湖南 <6/17 サーチナ
ニュース>

http://news.searchchina.ne.jp/disp.cgi?y=2011&d=0617&f=national_0617_179.shtm

1◆日本大震災：下水処理施設に汚泥保管庫新設－前橋市方針 /群馬 <6/18 毎日新聞>
<http://mainichi.jp/area/gunma/news/20110618ddlk10040167000c.html>

◆菅首相、浦安の液状化被害を視察「補正予算で対応」 <6/18 朝日新聞>

<http://www.asahi.com/politics/update/0618/TKY201106180400.html>

◆福島のがれき、8000ベクレル以下で埋め立て可 環境省通知へ <6/20 MSN 産経ニ
ュース>

<http://sankei.jp.msn.com/life/news/110620/trd11062000100000-n1.htm>

◆公園噴水停止、学校部活動ずらす 愛知県 <6/20 MSN 産経ニュース>

<http://sankei.jp.msn.com/politics/news/110620/lcl11062010530000-n1.htm>

◆放射性物質検出汚泥処理問題：「前進」も先行き不透明、業者受け入れ再開に慎重/神奈川
<6/

20 神奈川新聞>

<http://news.kanaloco.jp/localnews/article/1106200010/>

◆前橋水質浄化センターを歩く 放射性汚泥なお搬出できず <6/21 MSN 産経ニュース>

<http://sankei.jp.msn.com/region/news/110621/gnm11062115360003-n1.htm>

◆環境省 福島県内の地下水質のモニタリング調査における放射性物質濃度の測定結果を
公表

<6/21 EIC ネット>

<http://www.eic.or.jp/news/?act=view&serial=25302&oversea=0>

◆「打ち水」で節電呼びかけ 東京タワー前広場 <6/22 毎日新聞>

<http://mainichi.jp/select/wadai/news/20110623k0000m040058000c.html>

◆汚染汚泥処理に限界 埋め立て、再利用が困難 <6/22 埼玉新聞>

<http://www.saitama-np.co.jp/news06/22/09.html>

【クイズの答】独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

～ 以上、国からの下水道ホットインフォメーションより～



発行元：財団法人 下水道新技術推進機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方は

こちらから→ jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせは

こちらから→ jiwet@jiwet.or.jp

